

会 議 録

会議の名称	第19期第3回企画実行委員の会議
事務局	公民館東分館
開催日時	平成18年11月7日（火）午前10時～正午
開催場所	公民館東分館集会室A・B
出席者	【企画実行委員】伊藤巖 今村久壽夫 児玉栄子 吉田和子 [欠席] 池口年子 椎野稔 【職員】長堀雅春 小林明夫 笠井恭子
傍聴の可否	可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	1 第28期第12回公民館運営審議会の報告について 2 主催事業の計画・報告及び担当について 3 来年度主催事業について 4 第44回東京都公民館研究大会について 5 その他
会議結果	
発言内容・ 発言者名 (主な発言 要旨等)	1 第28期第12回公民館運営審議会の報告について 〔長堀〕同審議会当日が高齢者学級実施日と重なったため欠席したので報告 できません。各館事業の計画・報告として東分館から国際交流イベント 「中国四千年・水墨画と茶道の世界」（計画）、男女共同参画講座「いま を見つめる源氏物語」（報告）、成人大学「江戸時代の旅と食」（計画）、 市民講座「エンディングへの生前準備」（計画）を提出済み。同審議会 では小金井市公民館の基本計画づくりについて活発な論議を継続中。 2 主催事業の計画・報告及び担当について ○ 子ども体験講座「ときめき科学実験」 〔小林〕10/7に第1回を実施。参加者16人、講師3人のほか、手伝いとし て東京電機大高校の学生4人も加わる。実験材料や器具、薬品等のほか 防護面、軍手等も用意され、材料費（1000円）以上の準備をいただいた。 （学校からも補助が出ているとのこと）次から次へと様々な実験を行 い、時間いっぱい飽きることなく楽しめた。参加した子どもたちは大変 喜んでいました。次回は11/25。 〔長堀〕目を丸くして感動を表し、顔を紅潮させていた子どもたちの顔が印 象に残った。授業と違い楽しみながらいい勉強になったと思う。 ○ 国際交流イベント「中国四千年・水墨画と茶道の世界」 〔小林〕前報告の実施要綱の通り。市報11/15号で募集。11/16より受付。 ○ 国際交流イベント「バングラディシュ」（仮題） 〔小林〕交渉していた「ベトナム」が不調に終わり、「バングラディシュ」 の企画を進行中。講師は東京農工大留学生。日程は2/3、10、17、24い ずれも土曜日、午前10時から正午。今月15日頃までに内容を詰めたい。 〔長堀〕担当を決めたい。 → 今村久壽夫、児玉栄子

○ 男女共同参画講座「いまを見つめる源氏物語」

〔長堀〕全日程終了。出席率が非常に高く、全回出席者が28人にのぼった。講座の充実度、参加者の満足度が数字に表れている。講師のひたむきさがよく伝わり、内容の豊かさにつながったように思う。

〔今村〕講師が大変熱心。毎回講演内容をノートに書いてくるなどよくやってくれた。参加者の要望も多いので来年もやった方がよい。

〔児玉〕龐大な原文の一部分をピックアップしただけなので、まだまだ知らない部分がたくさんあると思う。ぜひ続編をやってほしい。

○ 男女共同参画講座「文章力でスキルアップ」

〔長堀〕受付けた参加者31人。30代から40代が多い。11/15と11/22の全2回。担当の再確認 → 池口年子、吉田和子

○ 高齢者学級「いきいきと仲間づくり」

〔長堀〕浅草から浜離宮の野外研修は29人参加。川越の野外研修は38人参加。残り2回となった。9月以降参加者が減少傾向にあるが長期講座の終盤になったからか。

〔吉田〕浅草から浜離宮の野外研修は2～3年前に行ったのと同じ内容だったので行かなかったという人がいた。一部分でも内容を変えればよかった。高齢の人は歩くのがダメなので行かないという人が多い。

〔伊藤〕浜離宮のガイドはよかった。全行程中一箇所ぐらひは解説を聞きながらじっくり学習することも必要。テーマを持つのもいい。楽しむ面と学ぶ面をうまく組み合わせていければと思う。

〔児玉〕川越は初めてだったが、一人暮らしの方から「とても楽しい」と感想を話された。一日中誰とも話をしない暮らしなので、学級に入って友だちもでき、とても楽しいと喜びの声も聞いた。

〔長堀〕2～3年前と同じ内容との指摘については、8月初めに担当者が急に変更となり急きょ企画したために前例を精査する余裕がなかったためで今後は気をつけたい。ご指摘の通り、同じ場所でも一部を変えるとか季節を変えるなど工夫が必要。何年か続けての参加者が多いことも企画の際十分に念頭に置く必要がある。野外研修にテーマを設定し、解説を付けるなど学習面の充実を図ることについては賛成。川越の際、朝の受付を2箇所にしたのは失敗だった。1箇所で統一すべき。会計の残金については最終回にすべて精算する。来年度の準備会を12月以降3月まで4回開催したい。11/16の最終回に呼びかけ、うち1回（2月）を野外研修とする。次回感想用紙を配布し、最終回に回収する。

○ 市民講座「エンディングへの生前準備」

〔長堀〕別紙実施要綱の通り。市報12/15号で募集。

○ 成人大学「江戸時代の旅と食」

〔小林〕11/2受付、すぐに30人の定員超過。講師と相談し定員を48人に増やしたが、その日のうちに超過。現在締め切りの状態。60代から70代が多い。担当の再確認 → 池口年子、児玉栄子、吉田和子

○ 成人学校「男子厨房から始める新しい生活」

〔長堀〕10/16受付、すぐに定員超過。調理実習の方は11/13に講師が来館し打合せ予定。講義の方は資料待ちの状態。

〔伊藤〕企画実行委員は何をしたらいいか？

	<p>[吉田] 実習の際、あまり手を出してもいけないのではないかと。参加者が自分でやらなければ意味がない。</p> <p>[長堀] 24人参加なので全員来ると仮定すれば調理台1台あたり6人となりそれに加わるのは無理。講師台の作業を手伝うとか、いろいろやることはあると思う。鍋を持つときなど手伝うのはよいと思う。</p> <p>○ 成人学校「デジタルカメラ基礎講座」</p> <p>[小林] 3回終了。1回目の反省から内容をやさしくしてもらい、1回目のフォローもしたので概ね好評のうちに進んでいる。簡単な操作も実際に行い、全員がやり終えた。11/9は野川で撮影会、11/16の最終日はその発表会と講評。講師が無料でプリントしてくれるとのこと。</p> <p>[今村] 欠席が少なく皆さん熱心。終了後も残って質問する人もいる。一部に難しい言葉を使って質問する人がいる。</p> <p>[小林] 講師も心得ていて、難しい質問についても初心者対象事業であることを念頭に置きつつよく答えてくれている。</p> <p>○ 成人学校「暮らしに役立つハーブ」</p> <p>[笠井] 前回いろいろ候補が上げられたが、結局「ハーブ」を実施することになった。アロマセラピーはあちこちでやっているが、今回は食べ物中心のハーブを取り上げる。(別紙実施要綱の通り) 時期的にドライものを使うことになるが、全5回の内容はバラエティに富んでいて充実したものになった。毎回ハーブティーを煎れ、毎回何かしら持ち帰っていただく予定。材料費4000円は安いぐらい。市報1/1号で募集。</p> <p>[長堀] 担当を決めたい。 → 吉田和子、今村久壽夫</p> <p>3 来年度主催事業について</p> <p>[長堀] 東センターまつりが来年は第20回の節目を迎える。それに相応しい企画を考えたい。来年1月末頃に第1回実行委員会を開催したい。次回はそれに向けて企画内容を検討したい。主催事業については、前回検討した内容で予算要求中。5～6月頃実施予定の事業についてはそろそろ準備を進める必要がある。</p> <p>4 第44回東京都公民館研究大会について</p> <p>[長堀] 各自参加予定の課題別集会を確認してください。当日は8時30分に第二中学校集合。前日準備に行ける人は午後1時、第二中学校へお願いします。研究大会当日の役割として東分館は記録担当です。</p> <p>5 その他</p> <p>[長堀] 高齢者学級の来年度の企画について、改めて日程を決めて集中討論したいと思います。 → 11月29日(水)午前10時～正午 次回の企画実行委員の会議日程は、12月5日となります。</p>
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開催通知(議題入り) ○ 12月の主な予定 ○ 市民講座「エンディングへの生前準備」実施要綱 ○ 成人学校「暮らしに役立つハーブ」実施要綱